

複合施設基本設計の検討状況に関する意見交換会意見に対する回答(1回目)

No.	内容	市の考え
配置計画について		
1	本厚木駅西側の地下道や、バスセンターの再整備計画を含めた本厚木駅との接続をどのように考えているかを教えて欲しい。	今回の意見交換会は、複合施設の基本設計の検討状況について市民の皆様から御意見を伺う機会として設定しています。 厚木バスセンターや本厚木駅前東口地下道の再整備は、複合施設整備後に取り組んでいきます。現在のところ、バスセンターや地下道からも複合施設へアクセスできるよう、計画していくことを考えています。
2	人流がどん詰まりにならず、回遊できるように(＝街につながるように)して欲しい。(目的以外の人通りを増やす)	複合施設への歩行者動線については、本厚木駅や厚木バスセンター、周辺商業施設との回遊性の向上を意図し、敷地内を東西に通り抜けできる歩行者動線を検討しています。
3	晴れた日は気分よく外から、雨の日は濡れずに屋根のある通路からアクセスできることを希望。	複合施設への歩行者動線については、利用者の皆様の利便性や安全性を考慮しながら、検討しています。現在のところ、屋根がある通路からのアクセスは、新設立体駐車場や本厚木駅前東口地下道からのアクセスなどを検討しています。
4	動線については人と車が交わらない南側斜路新設のほうがいいと思います。	複合施設への歩行者動線については、利用者の皆様の利便性や安全性を考慮しながら、検討しています。現在のところ、歩行者と自動車の動線が交わらないよう、歩行者は地上又は2階レベル、自動車は地下レベルでのアクセスを主体とすることを検討しています。
5	利用者から見れば、入り口がどこか、建物周辺の雰囲気が大変気になります。市庁舎であれば利用者から見て親近感があり、気がるに入りやすくなっているか、図書館の周りは静かで落ち着いた環境があるか。単に人が多くにぎやかであればよいということではなく。各施設の役割がきちっと機能できるのかなど大切と考えます。	今回の意見交換会では、配置計画や階層計画について検討状況をお示しし、市民の皆様から御意見を伺う機会として設定しています。建物内部のレイアウトについては、改めて御意見を伺うことを予定しています。 御意見のとおり、各機能が必要な役割を果たすことができる施設にすることが前提ですので、にぎわい創出だけでなく、市民の皆様に親しんでいただける施設にしていくことが重要であると考えています。

複合施設基本設計の検討状況に関する意見交換会意見に対する回答(1回目)

No.	内容	市の考え
6	西側にある厚木バスセンターの整備計画（出入口の場所、高さ）が分からずに、全体配置を考えることに無理がある。そのため、いまの広場が設定されている部分が形状的に良いのかどうか判断できない。現在の広場南側からの人の出入り（オレンジ矢印）は歩行者道路の安全性が確保できない点で不適切と考える。車動線と人動線を完全分離して、人動線を東西方向だけにするのが良い。今のままでは庁舎側の床面積が大きく、特に東の半分に自然光が入りにくく、パッシブデザインとは言い難いと考える。バスセンターを含めて下図のような配置が良いと考える。 	厚木バスセンターについては、複合施設整備後に、厚木シティプラザの敷地を含めた現在の位置での再整備を計画していくこととしています。 複合施設への歩行者動線については、利用者の皆様の利便性や安全性を考慮しながら、検討しています。現在のところ、歩行者と自動車の動線が交わらないよう、歩行者は地上又は2階レベル、自動車は地下レベルでのアクセスを主体とすることを検討しています。 また、建物中央部へも自然光が差し込む建物構成を検討した結果、現在の形状としています。引き続きパッシブデザインを考慮した設計としていきます。
7	現在のシティプラザの場所はバスセンターの一部として再整備されるのでしょうか？	厚木シティプラザについては、複合施設整備後に、権利者との意見調整を図りながら、厚木バスセンターが抱える課題の解決や本厚木駅から複合施設までのアクセス性の向上を図るため、建物を解体し、バスセンターの拡張用地や広場等として活用していく計画としています。
8	現在のバスセンターの2F広場部分はどうなりますか？	厚木バスセンター上部の交通広場（厚木サンパーク）については、老朽化や利用者ニーズの変化といった課題があることから、今後の在り方について、バスセンターの再整備と併せて検討していきます。

複合施設基本設計の検討状況に関する意見交換会意見に対する回答(1回目)

No.	内容	市の考え
9	併せて、保健福祉センターの有効活用を考えて欲しい。(現在、どんな風に使われているのか全く不明でもったいなく感じています)	現在の保健福祉センターは、保健・医療・福祉が連携した行政サービスを市民の皆様に提供の中核拠点として平成29年に再整備をしています。2・3階は、市民の健康を守り、健康増進を図るために地域保健活動を進めていく拠点施設です。乳幼児健康診査を始め、健康教室、健康相談などを行うとともに、疾病に対する知識の向上・予防を図るための事業を実施しています。4・5階は地域の療育支援の拠点施設です。発達に心配がある親子を支援する療育相談センター「まめの木」、障がい児を支援する児童発達支援センター「ひよこ園」がおかれ、各種事業を行っています。 複合施設の整備と併せて、保健福祉センターの施設構成の見直しを検討していきますが、引き続き、保健・医療・福祉の総合的な拠点として活用していきます。
10	混合配置によりいろいろな部署同士の相乗効果が得られる空間になると良いなと思いました。建物構成の比較と敷地内動線計画の比較については図と文字が小さくて何と書いてあるか残念ながらわかりません。	御意見のとおり、混合配置は、床面積の効率的な活用のほか、異なる部署が並列されることによる相乗効果も見込むことができると考えています。 資料の印字の大きさについては、申し訳ございませんでした。前回資料のA3版の資料を同封します。今後の資料作成の際に配慮いたします。
11	建物のことばかりだが、この施設内、施設外に植物はどの位、配置されるのか？明示がないのは問題だと思う	今回は、複合施設の基本設計についての意見交換会ですので、建物についての検討状況をお知らせさせていただいています。 植栽を始めとする緑化の規模、種類等については、今後検討していきます。
12	予想通り別棟ではなくなり、「混合配置」で「雁行型」なる建物形態と銘打って辛うじて図書館棟にプロポーザル提案のオール壁を残したもののかかなり建て詰まった配置で外部空間・オープンスペース・ゆとり欠ける感。新立体駐車場には大型バス発着場も附置されるのですか？また、結局作ることになった庁舎棟地下駐車場へのアクセスは南側からと読み取れますがかなり狭隘な感じですが問題ありませんか？	建物形状の比較については、イニシャルコストやランニングコストだけでなく、これまでの複合施設等整備基本計画に定めた複合施設の整備方針の実現性を比較検討した結果、別棟となる「並列配置」よりも「混合配置」の方が優位性が高いと判断しています。 施設内の「ゆとり」については、改めて施設内のレイアウトをお示しし、御意見を伺うことを予定しています。 大型バス発着場の今後の在り方については、位置も含め今後検討していきます。 地下駐車場へのアクセスについては、南側と北側の両方からのアクセス動線を検討しています。

複合施設基本設計の検討状況に関する意見交換会意見に対する回答(1回目)

No.	内容	市の考え
13	直列配置は避けたほうがよいと素人ながら思います。資料2ページのイメージ図を見ると、ただ巨大なサティアン的な建物を連想します。隣は中町立体駐車場・保健福祉センターなどで大変密で窮屈な建物群にならないか心配です。旧厚木小学校の跡地が小さな公園になっていますが、あの程度の広場・空間・緑は取り入れたほうが良いと思います。また、混合配置についてはメリット・デメリットが現在のところよくわかりません。	複合施設の位置や規模については、保健福祉センターや新設立体駐車場、中町立体駐車場と一体的な利用が見込まれることから、それぞれの施設との接続性を考慮しながらも、必要な空間を確保した配置としています。 広場については、開発区域内の南西部に設置することを検討しています。 混合配置については、各階でそれぞれの機能が必要面積を確保しながら、無駄な空間をできるだけ抑えることができるほか、建物構造上も安定するといったメリットがあり、イニシャルコストやランニングコストだけでなく、これまでの複合施設等整備基本計画に定めた複合施設の整備方針の実現性が最も高い形状であると判断しています。
14	図では1棟に見えるが2棟の連結にした方が、地震の揺れに対して効果的ではないか。	2棟の方が1棟よりも地震に対して安定するということは必ずしも言えないと判断していますが、いずれにしても、大地震に対して十分な耐震性を確保した構造体を検討しています。
15	賛成しかねます！どんなコンセプト、どんな設計士、どんな建設業者を使うのか？	今回の意見交換会は、複合施設の基本設計の検討状況について市民の皆様から御意見を伺う機会として設定しています。 コンセプトについては、複合施設等整備基本計画に「いきいきと生きる日々、すてきな時間を過ごすことができるサードプレイスを目指して『いい日々、いい時間。』」と定めており、これについては、市民の皆様から御意見を聞きながら定めてきたところです。 設計者については、石本建築事務所・石上純也建築設計事務所設計共同企業体です。 建設事業者については、今後の実施設計の一部と建築工事を請け負う事業者を基本設計の完了後に決定していきます。 複合施設整備のこれまでの経過については、本市ホームページに掲載しています。インターネットの検索サイトで「厚木市複合施設 進捗」と検索いただくと当該ページにアクセスできますので、併せて御確認ください。
16	ある程度のワンストップ化は良いと思います。	複合施設は、市庁舎だけでなく、図書館や未来館、消防本部、国県の行政機関等からなる施設ですので、様々な目的を持った、様々な世代・性別・国籍の方が来館されることとなります。来館される皆様ができるだけ不都合なく目的を果たすことができるよう、案内や相談などの機能をワンストップで対応していく必要があると考えています。

複合施設基本設計の検討状況に関する意見交換会意見に対する回答(1回目)

No.	内容	市の考え
17	新庁舎廻りの道路問題？	複合施設敷地周辺の自動車交通については、複合施設等整備基本計画において検討しています。現在の交通体系であっても問題ない検討結果となっていますが、あつぎの道づくり計画において、中町第2-2地区周辺交通アクセス整備事業を位置付けており、新規道路の新設や既存道路の拡幅、交通規制の導入等により、複合施設への交通動線や周辺交通の円滑化、周辺商業施設への回遊性などを確保していくことを計画しています。
18	市で検討した「基本的な考え方」に賛成です。	引き続き、機会を捉えて市民の皆様へ検討状況をお知らせしながら整備を進めていきます。
19	小田急側の壁面をどのようなデザインにするのか不明ですが、朝方は「いってらっしゃい」夕方は「おかえりなさい」を演出できるような工夫があると「厚木市の暖かさ」を伝えられて、シンボル性が増すと思われます。	御意見のとおり、小田急線の車両からの視認性も意識した設計、運営を検討していきます。
階層計画について		
20	本厚木駅から、地下道で(出来れば人通りの多い地下街として)庁舎までつながるようにして欲しい。	厚木バスセンターや本厚木駅前東口地下道の再整備は、複合施設整備後に取り組んでいきます。現在のところ、バスセンターや地下道からも複合施設へアクセスできるよう計画していくことを考えています。本厚木駅からのアクセス性の向上を図るため、地下道の延伸についても検討していきます。
21	日常的にちょっとしたコンサートやイベント等を実施できるような明るいエントランスを希望。	今回の意見交換会では、配置計画や階層計画について検討状況をお示しし、市民の皆様から御意見を伺う機会として設定しています。建物内部のレイアウトについては、改めて御意見を伺うことを予定しています。現在のところ、エントランス部分については、複合施設の導入部として、案内機能のほか、連携機能、図書館機能を配置し、市民の皆様にとってのサードプレイスとなるスペースとしていくことを検討しています。
22	屋上に市民が利用できる、かつ厚木市を見渡せる展望台を設置して欲しい。	今回の意見交換会では、配置計画や階層計画について検討状況をお示しし、市民の皆様から御意見を伺う機会として設定しています。屋上のレイアウトについては、改めて御意見を伺うことを予定しています。現在のところ、屋上を常時一般開放することは、安全管理上問題があるものの、時期や対象を特定した開放については検討していく必要があると考えています。
23	庁舎機能の中身はいったいいつ提示されるのでしょうか？一日もはやく示されたい。	今回の意見交換会では、配置計画や階層計画について検討状況をお示しし、市民の皆様から御意見を伺う機会として設定しています。建物内部のレイアウトについては、改めて御意見を伺うことを予定しています。
24	食堂・ラウンジが見えない。	

複合施設基本設計の検討状況に関する意見交換会意見に対する回答(1回目)

No.	内容	市の考え
25	複合施設における階層計画は、おおよそ分かりましたが、新立体駐車場や保健福祉センターとのつながりはどうなるのでしょうか。	立体駐車場や保健福祉センターからの動線につきましては、利用者の利便性や安全性、建設事業費等を考慮し、適切な接続を検討していきます。
26	レイアウト計画の比較として表示されている4パターンのコンセプト不明。図書館機能と未来館機能の「融合」がスキップフロアー、大吹き抜け、中間階へのプラネタリウム・多目的ホール設置などになる必然性が不明で、ムダや華美につながらないか気になります。議会機能や庁舎機能の説明もよく理解できない。中間報告には平面計画は不用なのですか。そもそも、「(1)レイアウト計画の比較」があって(2)以下の記述がありませんが、欠落があるのですか？	事前に資料についての説明ができないまま、書面での御意見を伺っており、分かりづらいところがあったかと思います。申し訳ございません。 今回の意見交換会では、配置計画や階層計画について検討状況をお示しし、市民の皆様から御意見を伺う機会として設定しています。建物内部のレイアウトについては、改めて御意見を伺うことを予定しています。 レイアウト計画の比較の4パターンについては、タイプ1は、庁舎機能と、未来館機能・図書館機能・連携機能（以下「広場機能」といいます。）の必要面積をそれぞれ積み上げていくものです。こちらは高さが異なる建物が並列することにより、構造的な課題を始め、意匠性や利便性も他のタイプと比較して優位性が低いと考えています。タイプ2は、タイプ1と同様の考えですが、階高を調整し庁舎機能の高さに広場機能を揃えたものです。構造的にはタイプ1よりも安定しますが、広場機能の各階の天井高が一般的な建物よりも高くなり、イニシャルコスト、ランニングコストともに課題が残ると考えています。タイプ3は、庁舎機能の一部を広場機能側の上階へ移し、建物全体の高さを抑えたものです。タイプ4はタイプ3と同様です。広場機能のつながりを重視し、未来館機能・図書館機能と連携機能が分断されるタイプ4よりもタイプ3の方が施設のレイアウトとしてはふさわしいと考えています。イニシャルコストやランニングコストが抑えられることや、セキュリティ、構造を検討し、タイプ3が最も優位性が高いと判断しています。
	各施設積上げタイプよりは混合タイプ1がいいと思いました。つながり部分はどのようにデザインをお考えなのか気になります。	
27	浸水回避のため1F Lが上がっているが、身障者であっても無理なく入っていけるような絵になっていないのが気になる。	車いす利用者の皆様を始め、様々な方が利用しやすい施設になるよう、バリアフリーに十分配慮した計画としています。
28	プラネタリウムですが、未来館の中にオブジェ的に存在させるイメージでしょうか。星空とリンクさせることを考えているのであれば、屋上に近い方が自然に感じます。	プラネタリウムについては、単に星を眺めるだけでなく、多目的ホールとしても市民の皆様にご利用いただくことができる施設とすることを検討しています。来館者の目に触れやすい低層階に配置することで、プラネタリウムを普段利用されない方にも身近で親しみのある施設として認識いただき、未来館を訪れる機会になるよう配置する計画としています。
29	プラネタリウムを最上階ではなく、低層階に配置したのは、斬新で素晴らしいと思います。「集客」の目玉になるといいですね。	プラネタリウムの規模については、 (次ページに続きます)

複合施設基本設計の検討状況に関する意見交換会意見に対する回答(1回目)

No.	内容	市の考え
30	多目的ホール兼プラネタリウムについて。 多目的ホールの使い方には大賛成です。身近に市民が気軽につかえるホールがあまりにも少なすぎます。天井の高いプラネタリウムでもあります。幅広く活用できるためには座席も90席程度と聞いていますが、せめて200席ぐらいあってもいいのではないのでしょうか。厚木市は講演会、音楽コンサート、映画会にも利用できるような文化的施設が乏しすぎるように思います。	(前ページからの続きです) 基本計画段階で検討しており、現段階で基本計画から大幅に増やすことは全体事業費にも影響することから難しいと考えています。
31	低層部のつながりは、スロープ構成を望みます。	利用者の皆様が使いやすい施設構成としていきます。
32	秘書室や議会事務局は何Fのどの部分になりますか？	今回の意見交換会では、配置計画や階層計画について検討状況をお示しし、市民の皆様から御意見を伺う機会として設定しています。建物内部のレイアウトについては、改めて御意見を伺うことを予定しています。 現在のところ、秘書課は中層階、議会機能は最上階への配置を考えています。
33	外から見れば、イメージ図のように大きな建造物のかたまりとみていいのでしょうか。内部の1F・2F・4Fで連結されていますが、7Fは通路はないのでしょうか。「庁舎機能」の中で、「窓口」の在り方がとても重要と考えます。「ワシントン市庁舎」という映画をみましたが、市庁舎の在り方の違いに大変驚きました。来訪者と気軽にディスカッションするスペース、説明や映像を流せるスペースなどぜひ確保してください。机越しの対応のみでなく、ゆとりあるスペースは必要かと思えます。あわせて、仕事しやすい環境づくりには働く職員の意見を最大限尊重してほしいと思います。	今回の意見交換会では、配置計画や階層計画について検討状況をお示しし、市民の皆様から御意見を伺う機会として設定しています。建物内部のレイアウトについては、改めて御意見を伺うことを予定しています。 建物外観は、イメージパースをお示ししていますが、今後の検討状況により変更する可能性もあります。 内部のつながりについては、庁舎機能のうち、市民の皆様が多く利用される低層部の窓口機能を中心に、連携・図書館・未来館機能とがそれぞれを往来できる計画としています。 御意見のとおり、複合施設を利用される皆様が交流できるようなスペースについても検討していきます。 窓口の在り方や職員の執務環境については、現在、庁内の検討組織により検討しており、市民の皆様の実便性の確保だけでなく、職員の働きやすさも含め、検討していきます。
34	図書館と未来館機能が同じフロアに並列になっていますが、「融合」だけではあまりにも抽象的で各機能を明確にしたうえで、相乗効果は出ると思います。	今回の意見交換会では、配置計画や階層計画について検討状況をお示しし、市民の皆様から御意見を伺う機会として設定しています。 図書館と未来館の融合については、現在のところ、それぞれを別々の機能として整備するのではなく、図書館の中に未来館が配置され、関連図書と併せて科学に親しむことができるような機能配置を考えています。

複合施設基本設計の検討状況に関する意見交換会意見に対する回答(1回目)

No.	内容	市の考え
35	特に1Fにみられる「連携」ですが、海老名市の図書館のような姿はぜひともやめるべきと考えます。賑わいは賑わい、図書館は図書館という使い方をすべきだと考えます。図書館・未来館の本来の機能は確保できるのでしょうか。	今回の意見交換会では、配置計画や階層計画について検討状況をお示しし、市民の皆様から御意見を伺う機会として設定しています。 複合施設等整備基本計画を策定する際に、それぞれの機能に必要な規模を検討しており、これまでの検討を踏まえて設計業務に当たっています。 1階は建物の導入部としてのにぎわいを重視し、静かで落ち着いた図書館本来の機能は2階以上のフロアに配置することを検討しています。
36	市庁舎建設計画の中で、国・県施設がかなり多く入ることになっています。反面床面積のみ見れば、新市庁舎の床面積は狭くなっています。おかしい話です。 国・県の施設は限りなく減らし、複合施設はスリム化し、建設予算もできるだけ削減したいと考えています。	御指摘のとおり、市庁舎は、現在の延床面積よりも小さい規模を計画しています。複合施設は、基本計画段階でそれぞれの機能にとって必要な規模をできるだけ削減した上で、各機能の規模や建築事業費を検討してきました。御意見のとおり、建設事業費をできるだけ抑えることができる設計を検討しています。 なお、国県の行政機関等については、国県のそれぞれに応分の負担を求めていますので、国県分の面積が増えても（減っても）本市の負担が増える（減る）ということはありません。
37	庁舎機能の面積が、現状の面積をかき集めたとしても大きすぎるように感じますが、将来的な展開を見越してのことでしょうか。コストの増大を心配しているところです。	
地震対策・浸水対策について		
38	こちらの説明も専門的でただ受け取ってみることしかできないのですが、この建物を修繕しながら大体何年使用予定と計画されているのかが気になりました。	令和4年2月に改訂した公共施設最適化基本計画において、本市の公共建築物の目標耐用年数については、長寿命化改修の実施を条件に、耐用年数の範囲の最長である80年としています。 複合施設の構造は鉄骨造を計画しておりますので、その目標耐用年数は80年が基準となりますが、具体的な年数については、今後検討していきます。
39	雨水を再利用して、庁舎の水洗用の水 e t c は全て雨水を利用するシステムを導入を検討下さい。東京都台東区を参考に！！	雨水利用については、ランニングコストの削減や環境配慮だけでなく、災害時にも重要な役割を果たすことから、できるだけ有効活用していくことを検討しています。
40	プロポーザルでは、庁舎棟は免震構造、広場棟は耐震構造、いずれも鉄骨造セミチューブで軽量化がうたわれていましたが、素案の構造計画は結局特記仕様書にある免震、RC・S・SRCのいずれかによるラーメン構造となるのですか？	複合施設の構造については、現在のところ、安全性や建設事業費を考慮し、庁舎機能も図書館機能・未来館機能のいずれも免震構造、鉄骨造、ラーメン構造とする検討をしています。
41	図書館棟のアール壁は構造体ではなくカーテンウォール仕上げとなるのですか？	現在のところ、複合施設の構造はラーメン構造とし、図書館機能・未来館機能の建物外壁については、アール壁ではなく多面体とする検討をしています。仕上げについては、今後検討していきます。
42	基礎杭は現場打ちですか？	施工性や建築工事費等を考慮し、最適な方法を今後検討していきます。

複合施設基本設計の検討状況に関する意見交換会意見に対する回答(1回目)

No.	内容	市の考え
43	地震対策の冒頭で「きわめて稀れに生じる大地震に対して」との書き方は、誤解を生じさせる記述であり、このような考えのもとで基本設計を進めてもらっては困ります。南海トラフでは今後40年以内にマグニチュード8～9級の地震が発生する確率は「90%程度」と言われています。大地震は起こるとの想定に立った上で、必要な対応策は何かといった視点になっているかを再度チェックしてください。	南海トラフ巨大地震のほか、都心南部直下地震や東海地震など、本市に影響が大きい地震は、今後必ず発生するものとして、業務継続が可能な施設とすることを目標に検討を進めています。 御意見のとおり、誤解が生じることも考えられますので、今後は表現を改めます。
44	浸水対策の内、想定最大規模(1000年確率T P 21.68)時は止水壁を越流し地下駐車場は水没止むなしということですか？	計画規模は、河川整備の目標となる規模であり、想定最大規模は、想定し得る最大規模の被害想定となります。現在のところ、想定最大規模への対応については、浸水深以上の高さの建物の業務継続性を確保することとしていますが、今後更なる検討を進めていきます。
45	地震対策は意見できるほど理解していませんので、専門家の方にお任せします。浸水対策ですが、過去の地下駐車場の浸水被害から地下に駐車場を持たさず（他の場所で準備する）と考えていたのですが、今回の駐車場出入口の対策をすれば十分であるとの結果が出ているのでしょうか？	浸水については、雨水が排水しきれずに発生する「内水浸水」と河川の氾濫又は堤防の決壊により発生する「洪水浸水」があります。さらに、「洪水浸水」の被害想定については、河川整備の目標とする「計画規模（100～200年に一度程度の発生頻度）」と想定し得る最大規模となる「想定最大規模（1000年に一度程度の発生頻度）」に分かれています。 現在のところ、複合施設は、内水浸水及び計画規模の洪水浸水に対しては被害を受けない施設とし、想定最大規模の洪水浸水に対しては浸水深以上の高さの建物の業務継続性を確保することとしていますが、今後更なる検討を進めていきます。
46	関東大地震の震源地は相模湾でしたが、近い将来、首都圏直下型大地震も想定されています。市の説明によれば、100年はもつ建造物となっています。特に2-2地区の地形、地質構造などへの対策は重要と考えます。浸水、液状化対策なども同様と思います。	地震対策については、御意見の都心南部直下地震だけでなく、南海トラフ巨大地震のほか、東海地震など、本市に影響が大きい地震は、今後必ず発生するものとして、業務継続が可能な施設とすることを目標に検討を進めています。 浸水対策については、現在のところ、内水浸水及び計画規模の洪水浸水に対しては被害を受けない施設とし、想定最大規模の洪水浸水に対しては浸水深以上の高さの建物の業務継続性を確保することとしていますが、今後更なる検討を進めていきます。 液状化については、土質試験から発生の可能性は低いとの判定を得ていますが、建物の基礎設計において安全が確保できるよう対応していきます。

複合施設基本設計の検討状況に関する意見交換会意見に対する回答(1回目)

No.	内容	市の考え
47	気象庁地球温暖化予測情報第9巻(2017年)における降水の将来予測によると、有効な気候変動対策がとられなかった場合(RCP8.6)、21世紀末には、時間降水量50mm以上の短時間強雨の年間発生回数は、全国平均で2倍以上となると予測されています。予測とはいえ現状の時間雨量65mmを基にしたハザードマップでは将来的には必ずや過小評価になってしまう恐れが十分に考えられます。将来推計に係る科学的な最新の知見を取り入れて、安全率の拡大を強く求めます。	現在の下水道施設は、1時間雨量40mmの降雨に対応した施設となっていますが、現在施工中の貯留施設を整備することにより、1時間雨量51mmの降雨に対応が可能な施設となります。 内水浸水ハザードマップについては、過去に経験した1時間雨量65mmを算定条件に被害想定を検証しています。算定条件については、大雨の発生頻度や下水道施設の対応能力等を踏まえ、今後過小評価となり得る場合は、必要な見直しを図る必要があるものと考えています。
48	そもそも立地に反対です。(川に近く、海に近づく！) 宮ヶ瀬ダムとの海拔差を考えた対策を！	今回の意見交換会は、複合施設の基本設計の検討状況について市民の皆様から御意見を伺う機会として設定しています。 複合施設のうち市庁舎については、平成30年に策定した新庁舎整備基本構想において総合的かつ詳細な検討をし、市民の皆様には御意見を伺った上で、建設予定地を中町第2-2地区としています。また、厚木市役所位置設定条例についても、令和2年厚木市議会第1回会議において可決されています。 浸水や津波への安全対策を講じた施設としていきますので、御理解くださいますようお願いいたします。
49	専門的な知識がない為、判断できかねますが、「しっかり対策を打っている」ということは理解できました。地震、浸水が想定内であることを祈るばかりです。	地震や浸水に対して業務継続が可能な施設とすることを目標に引き続き検討を進めていきます。
業務継続計画・感染症対策について		
50	B C Pについて積極的にお考えなのが伝わってきます。B C Pが市職員だけでなく、会計年度任用職員や民間業者、そして市民に伝わると良いと思います。	災害発生時に市庁舎は、災害対応の中核拠点となることから、発災後72時間以上の業務継続が可能となるよう計画していきます。御意見のとおり、業務継続計画への理解が市職員だけでなく、会計年度任用職員や市民の皆様にも伝わるよう、引き続き、周知に努めていきます。
51	感染対策については窓から外気を直接取り入れられるのが嬉しいです。現状のシティプラザは熱が籠るところと外気が入りすぎて寒いところの差がかなりあるので温度差も換気で解消できるのではないかと思います。	御意見のとおり、自然換気は感染症対策だけでなく、イニシャルコストの削減や環境配慮にも関わるものですので、設置場所、範囲等について引き続き検討していきます。

複合施設基本設計の検討状況に関する意見交換会意見に対する回答(1回目)

No.	内容	市の考え
52	100年の耐用年数を見込む高密な複合施設が、今後想定される激甚災害、繰り返されるパンデミックの危機にあっても決してシステムダウンせずに機能するためにはハード、ソフト両面での危機管理が求められます。断面図には現代技術の粋が取り込まれ記載されていますが、巨大で多機能施設ゆえ相当のイニシャルコスト、ランニングコストが見込まれます。建設予算大丈夫ですか？	建設事業費については、改めて検討状況をお示しし、御意見を伺うことを予定しています。現在のところ、概算建築工事費については、社会経済情勢の変化により変動する懸念はあるものの、複合施設等整備基本基本計画で定めた約224億円を堅持しながら、基本設計を進めています。 なお、建設事業費の確保に当たっては、基金を令和4年3月現在で50.3億円積み立てているほか、地方債の活用などにより将来世代にわたった負担の平準化を図っていきます。さらに、国県の補助金等の特定財源の活用により、本市の健全財政を維持しながら、整備を進めていきます。
53	各階の床は配線等の収束ができるようにフリーフロアにすべき。又、各フロアの間仕切りは、コンクリート壁でなく、パーティションにした方が良い。	御意見のとおり、フリーアクセスフロアについては、基本計画において導入を検討することとしており、現在、検討しているところです。また、同一フロア内の間仕切りについては、基本的なオープンフロアとし、将来のレイアウト変化にも柔軟に対応できる構成とすることを検討しています。
54	感染症対策は、外気の取り入れ、自然通風で充分なのか、まだ疑問に思っているところです。むしろウィルスの持ち込みをどうやってシャ断するのかの対策が必要なところで、空气中に飛散させるのはよいのかどうかということです。残念なことに、この点での答えは、現状ではありません。	御意見のとおり、感染症対策については、自然換気や除菌消毒などの徹底した清掃以外の有効な対策がないということが現状です。現在考えられる感染拡大の3大リスク（接触・飛沫・マイクロ飛沫）への対策のほか、その他必要な対応策も将来的に取り入れることができる施設を建築だけでなく施設運営を含めて検討していきます。
55	この間、特に心配してきたのが感染症対策でした。心配の理由の一つが建物の中で多様な機能が集中すれば、感染によって、機能がマヒしやすくなるのではないかと、各機能は分散したほうが良いのではないかと、空間配置の中で通風対策はどうなっているのかなどでした。今回のコロナ禍の中で、改めて公共施設の重要性を認識しました。大型建物で機能の複合化が増えれば増えるほど対策がむづかしくなる気がします。	感染症対策については、建物の規模や複合化の有無に関わらず必要なものと考えています。自然換気や除菌消毒などの徹底した清掃以外の有効な対策がないということが現状です。現在考えられる感染拡大の3大リスク（接触・飛沫・マイクロ飛沫）への対策のほか、その他必要な対応策も将来取り入れることができる施設を建築だけでなく施設運営も含めて検討していきます。
56	業務継続計画においてCGSを設置し72時間の業務継続ができるようするとのことは評価します。一方で、危機管理面からこれが機能しなかった場合などを想定した補助機能の配置を考えておいた方が良くと思います。	本施設では、業務継続のために主として非常用発電機を計画しており、3日分の燃料を敷地内の地下オイルタンクに備蓄するため、インフラが断絶した際も業務継続可能な計画としています。 さらに、御意見にあります中圧ガスを利用したCGSについては、非常用発電機の補助的役割として、重要負荷への電源供給も可能となる計画としています。
57	危機管理の専門家を入れた計画を！	御意見のとおり、地域防災計画や業務継続計画、国土強靱化計画、安全確保計画等の本市がこれまで定めてきた関連計画との整合を図りなが

複合施設基本設計の検討状況に関する意見交換会意見に対する回答(1回目)

No.	内容	市の考え
58	医療の専門家を入れた計画を！	ら、複合施設の基本設計を進めていきます。
59	専門的な知識がないため、判断できかねますが、「しっかり対策を打っている」ということは理解できました。	業務継続が可能な施設とすることを目標に引き続き検討を進めていきます。
環境計画について		
60	電気が止まった場合でも運用できる形が大事なのではないかと個人的に思います。いつでもその時の新しいシステムや機能、機械を取り入れるということにならざるを得ないのかもしれないかもしれません。	御意見のとおり、災害発生時に市庁舎は、災害対応の中核拠点となることから、発災後72時間以上の業務継続が可能となるよう計画していきます。
61	エネルギー消費量を省エネ基準の50%以下まで削減するのが「Z E B R e a d y」、25%以下まで削減するのが「N e a r l y Z E B」、0%以下まで削減するのが「Z E B」ですが、一般的な国での要求基準である2030年度までに新築建築物の平均でZ E B R e a d yを目指すのではなく2050年カーボンニュートラルゼロを宣言した厚木市においては、そのシンボルである本庁舎が入る今回の複合施設にあっては、Z E B R e a d yを必達目標として、限りなく「Z E B」の達成を目指すこととしてください。このことが、2050年カーボンニュートラルゼロを宣言した厚木市の目指す事例になります。	御意見のとおり、ゼロカーボンシティを表明した自治体として複合施設に限らず今後新築する公共施設については、カーボンニュートラル実現に向けた取組を推進していく必要があるものと考えています。 令和4年2月に改定を行った公共施設最適化基本計画では、カーボンニュートラルの実現に向けた実施方針として、太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーの導入など地球温暖化対策実行計画（事務事業編）等に従った事業の実施を位置付けています。 複合施設については、大規模建築物のZ E B化を実現するための技術的な課題やイニシャルコスト、ランニングコストなど、総合的なバランスを考慮し、引き続き、できる限りの環境負荷を低減する施設を検討していきます。
その他		
62	各説明図が小さく、正直よくわかりませんでした。もう少し大きく、わかり易い説明図を希望します。	事前に資料についての説明ができないまま、書面での御意見を伺っており、分かりづらいところがあったかと思います。申し訳ございません。 資料の印字の大きさについては、申し訳ございませんでした。重ねてお詫び申し上げます。前回資料のA3版の資料を同封します。今後の資料作成の際に配慮いたします。
63	資料について、期待の持てる興味ある意見交換会資料でしたが、文字や写真があまりにも小さくて残念でした。	
64	印刷が分かりづらい（字が小さい、薄い、見えにくい！）	

複合施設基本設計の検討状況に関する意見交換会意見に対する回答(1回目)

No.	内容	市の考え
65	全体的に専門的な説明で、ひとまず確認してみても、なんとなくこのような方向性なのかな?という状態です。建築に関する理解は私の勉強不足もあると思います。今回の意見交換会はどの点を主眼に開催予定だったのかが気になります。もう一度いただいた資料を読み返してみたいと思います。	事前に資料についての説明ができないまま、書面での御意見を伺っており、分かりづらいところがあったかと思います。申し訳ございません。 今回の意見交換会は、複合施設の基本設計の検討状況について市民の皆様から御意見を伺う機会として設定しています。 今回、お示ししていない事項については、改めて御意見を伺うことを予定しています。 引き続き、御不明な点や御意見がございましたら、市街地整備課（電話：046-225-2470／メール：5000@city.atsugi.kanagawa.jp）にお気軽にお問い合わせくださいますよう、お願いします。
66	事業費が示されないと検討は中途半端になるのではないのでしょうか？最も重要なことを後にするのはいかがなものか？	建設事業費及び整備スケジュールについては、改めて検討状況をお示しし、御意見を伺うことを予定しています。
67	新年度予算のあらまし」など届けられていますが、事業費・今後の詳細なスケジュールなど決まり次第教えてください。	
68	複合施設整備における基本設計に対する検討が、多岐にわたり且つ細部にわたり行われていることに感銘しました。特に「地震対策・浸水対策」、「業務継続計画」、「環境計画」等、専門的見地から、さらに新しい観点からの検討内容であり、私自身の勉強にもなりました。	引き続き、検討状況を市民の皆様にお示しし、御意見を伺いながら、検討を進めていきます。
69	日頃から厚木市のまちづくり推進へのご尽力に敬意を表します。複合施設建設については、一市民として関心を持ちこの間のプロポーザル審査も視聴させていただき、当選案のコンセプト等がその後の基本設計でどう具現化されるのかにも大いに興味を抱いておりました。	
70	外観イメージについて、難しい問題とも思いますが、「あれが厚木市の複合施設だ。」と誰からも言われ、親しまれるような外観・色彩の検討も重要な課題と思います。	複合施設は様々な目的を持った、様々な世代・性別・国籍の方が訪れる施設となります。また、建設場所が小田急線からも視認できることもあります。御意見のとおり、建物外観や屋外広場については、大変重要だと考えています。市民の皆様から愛される施設となるよう、引き続き検討していきます。
71	広場に写真を撮りたくなるような仕掛けをして欲しいです。例えば、現在小田急駅北口のタクシーロータリーにある「像」を移設して、厚木市のシンボルとして維持してはどうか。あるいは新たなパブリックアートを設置するなどぜひ検討して下さい。	

複合施設基本設計の検討状況に関する意見交換会意見に対する回答(1回目)

No.	内容	市の考え
72	昨年6月に基本設計の業務委託先を決める「公募型プロポーザル」で「特定委員会」の審査の結果受注決定した共同企業体の提案が、今回の素案にどう生かされているかについて市街地整備課のコメントがあつてしかるべきではないですか？当選案は、「広報あつぎ」（2021. 8. 1日号）によれば、「事務所機能と文化情報機能を2棟に分けることで、複合による相乗効果を水平方向で生み出していることを目指している」との委員会の評価が紹介されています。しかしながら私見ですが、ネット公開された審査会で当選案となった提案を見た時に、12階建ての庁舎棟を3階建ての広場棟が同一高さで隣接しブリッジで結ぶ計画と知り、（即ち、広場棟の階高が庁舎棟標準階高の4階分に相当、一層当たり10数メートル?!）正直驚きました。浅薄な知見しか持ち合わせていませんが、構造的にも、設備効率的にも、そして建設費的にも成立困難な計画だと直感しました。さらに、この当選案は他の4案とは違い、地下駐車場はコスト高であり水害にも弱いとして、130台の地下駐車場を必置とする特記仕様は無視して、大型バス発着場も含んだ種地に立体駐車場を設置する計画となっており疑問を覚えました。しかし、結果はこの案が第二次審査で採用となりました。根拠はありませんが、何か出来レースのような強い違和感を覚えました。	プロポーザル方式については、設計案を選定するものではなく、設計者を選定するものであり、プロポーザルの提案内容がそのまま設計案になるものではありません。 御指摘のとおり、プロポーザル案に対する市街地整備課の見解は示していませんが、これまで基本的な考え方を取りまとめてきた複合施設等整備基本計画に定めた複合施設に必要な機能を備えながら、できるだけ事業費を抑え、かつ、市民の皆様から愛される施設とするべく、これまで基本設計者と協議を重ね、現在の検討状況としてお示ししているところでございます。 また、基本設計者の審査については、「複合施設基本設計等業務委託に係る技術提案書特定委員会」の講評を公表しています。同委員会の講評は、受注候補者の提案は「明快な建築的主張を掲げる本案は審査の議論の当初より多くの支持を得た。一方、見慣れない姿や列柱が取り巻く空間構成、構造コストの肥大化、大空間の環境制御の質と維持管理費など多くの懸念も出されたが、議論の結果、いずれも解決可能であると判断した。」「本案は、プロポーザルが設定する課題に対し最も創造的に取り組んだ優れた提案であり、今後の市民や市との対話を先導する強い理念と多様性を受け入れる融通さをもった提案と認められた。」とされています。審査は、特定委員会の十全な準備と公正な評価により行っています。 なお、審査講評については、次のHPで御確認いただけます。 https://www.city.atsugi.kanagawa.jp/soshiki/shigaichiseibika/7/basic_design/basicdesignproposal/23768.html （厚木市HPの検索窓で「23768」と検索いただき、添付ファイル「審査結果」の4ページ目に掲載していますのでそちらから御確認ください。）
73	上記にも関わりますが、発注者として「基本設計業務特記仕様書」で示した特記事項についてどのように素案に反映されているかについても一定のコメントを加えるべきだと思います。例えば、仕様書では中間報告段階で「概算結果」を求めています。素案では「検討中」として明記されていません。大型公共事業（仕様書でいう予定工事費224億円は、厚木市民一人当たり約10万円）であるだけに、財政民主主義の視点を大切にしたい検証が必要だと考えます。	今回の意見交換会は、複合施設の基本設計の検討状況について市民の皆様から御意見を伺う機会として設定しています。 今回、お示ししていない事項については、改めて御意見を伺うことを予定しています。現在のところ、概算建築工事費については、社会経済情勢の変化により変動する懸念はあるものの、複合施設等整備基本基本計画で定めた約224億円を堅持しながら、基本設計を進めています。 引き続き、御不明な点や御意見がございましたら、本市市街地整備課（電話：046-225-2470／メール：5000@city.atsugi.kanagawa.jp）にお気軽にお問い合わせくださいますよう、お願いします。

複合施設基本設計の検討状況に関する意見交換会意見に対する回答(1回目)

No.	内容	市の考え
74	いずれにしても、今回お送り頂いた資料は印字も小さく読みづらい上に、中間報告とはいえ私たち関心を持っている者が判断するうえで手掛かりとなる特記仕様書の概略や市街地整備課を始め関係当局の評価なども提供していただきたく検討願います。	事前に資料についての説明ができないまま、書面での御意見を伺っており、分かりづらいところがあったかと思います。申し訳ございません。 資料の印字の大きさについては、申し訳ございませんでした。重ねてお詫び申し上げます。前回資料のA3版の資料を同封します。今後の資料作成の際に配慮いたします。 今回の意見交換会は、複合施設の基本設計の検討状況の概略について市民の皆様から御意見を伺う機会として設定しています。特記仕様書については、必要な手続きがございますが御提供は可能ですので、お手数ではございますが、本市市街地整備課（電話：046-225-2470／メール：5000@city.atsugi.kanagawa.jp）にお気軽にお問い合わせくださいますよう、お願いします。 また、設計業務は、プロポーザル提案ではなく仕様書に基づき行うものであり、本市はプロポーザル案の評価者ではなく、発注者として業務を進めているところです。これまで基本的な考え方を取りまとめてきた複合施設等整備基本計画に定めた複合施設に必要な機能を備えながら、できるだけ事業費を抑え、かつ、市民の皆様から愛される施設とするべく、これまで基本設計者と協議を重ね、現在の検討状況としてお示ししているところでございますので、御理解いただきますよう、お願いいたします。
75	駅からの地下道の話聞いたことがあるが、どうなっているのか。歩道の作り方がバラバラだが、駅東口の滑らず、雨の浸透性のあるものにならないか。すずらん通りは、歩き難い。	本厚木駅前東口地下道の再整備は、複合施設整備後に取り組んでいきます。具体的な検討は今後になりますが、現在のところ、厚木バスセンターや複合施設、本厚木駅を結ぶアクセス動線として、市民の皆様に使いやすく安全な施設としていくことを考えています。
76	本計画は、単なる行政機能の移転・更新だけではなく、中心市街地の活性化に寄与する業務として大変期待しております。また、昨今喫緊の課題としてあげられる災害対応の面からもその重要性がより高まっておりますので早期の実現に向け尽力いただけたらと思います。	御意見のとおり、複合施設については、既存公共施設の移転更新だけでなく、コンパクト・プラス・ネットワークを含めた中心市街地の持続可能な活力維持・向上、国県を含めた公共施設マネジメント、災害対応、SDGs、デジタル化など、本市や我が国が抱える多くの課題に対して、その解決の一助となる施設とするべく、引き続き、早期整備に向け多方面にわたる検討をしていきます。

複合施設基本設計の検討状況に関する意見交換会意見に対する回答(1回目)

No.	内容	市の考え
77	公共の建物として、バスセンターを含めて総合的な開発をしてもらいたいと思っていますところ。 (下図のような配置がよいと思っています。) 	厚木バスセンターについては、複合施設整備後に、厚木シティプラザの敷地を含めた現在の位置での再整備を計画していくこととしています。
78	コングロマリットビル：アメリカ・コネチカットのモヒガンサンカシーノ、フォックスウッドカシーノのビル等を参考にすると良いかも！！	アミューズメント施設と市庁舎に代表される公共施設は、相反する部分があるものの、共通部分もあると考えますが、様々な目的をもって訪れる市民の皆様にはできるだけ不都合なく利用いただきながら、複合施設本来の整備目的を果たすことができる施設を引き続き検討していきます。
79	基本設計完了が2022年9月完了となっていますが、その前にパブコメが予定されていると考えよいでしょうか。	設計業務については、市民参加条例の対象手続に規定していないため、パブリックコメントを実施する予定はありませんが、今回の意見交換会だけでなく、ワークショップも開催しながら業務を進めています。引き続き、市民の皆様様の御意見を聞きながら、業務を進めていきます。
80	コンセプトとして、ユカ・ニハという用語が使われていますが、一般的な用語でしょうか。	「ユカ」「ニハ」については、プロポーザルにおいて基本設計者が使用した用語です。
81	今回のイメージ図を見るにつけ、駅前に新たな巨大な複合施設ができ、駅周辺はマンション群、大型施設群の乱立状況。目の前はバスセンター、駅前には一層車が流入し、雑踏と車の渋滞となり、いい日、いい時間から遠ざかっていくのではないかと心配がますます募ります。駅前には賑わい、活発のみでなく、市民がほっとできる広場・空間・緑などの空間も欲しいと思っています。	複合施設の位置や規模は、保健福祉センターや新設立体駐車場、中町立体駐車場と一体的な利用が見込まれることから、それぞれの施設との接続性を考慮しながらも、必要な空間を確保した配置としています。 また、市民の皆様にとっての憩いの場となる広場を開発区域内の南西部に設置することを検討しています。